

『隠された標的——戦時改描図の世界——』

正 誤 表

誤

正

21 頁の最後から 2 番目の段落 (8 行) :

陸軍関係以外で改描された施設は少ないが、奥羽本線弘前駅の南南東にあった発電所の記号が改描図では削除されている。これは明治末期に、ここから約 20 km 東の黒石川沿岸に設けられた水力発電所から弘前市内に送電された電気を降圧するための変電所であった。なお発電所は戦後のダム建設により更新されたが、変電所は「東弘前変電所」の名で現存している。

先に、「ここで改描の対象となったのはほとんどが陸軍の諸施設である」と記したが、図 C の範囲内で見ると、「ほとんど」は「すべて」と改めるのが適切なようである。他の項目でもいくつか例が見られるようにしばしば改描の対象となった発電所 (変電所) についても、図 C で弘前駅の南方にあった変電所は図 A でも同じ位置に記されている (現存することも図 B からわかる)。

128 頁の表 4 行目 (「3. 青森県弘前市」) の 7 列目 (「電力関係」) :

変電所

《削除》

2023 年 11 月 29 日作成